

成果目標に関する調書【空港整備特別会計】

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	16年度 予算額(千円)	17年度 予算額(千円)
1	東京国際空港(羽田)再拡張事業	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	東京国際空港再拡張事業のできる限りの早期着工・早期完成	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	10,650,000	60,493,000
2	東京国際空港(羽田)沖合展開	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	東京国際空港は、我が国航空ネットワークの基幹空港であり、その能力増強及び騒音問題の解消を図るため、直実に事業を推進し、利用者利便の向上を図る	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	18,591,000	12,454,000
3	成田国際空港の整備	国際航空サービス提供レベル 旅客：4,800億座席キロ(H19年度) 貨物：300億トンキロ(H19年度)	平行滑走路・エプロン等基本施設、第1ターミナルビル改修等の旅客ターミナルの整備、貨物取扱施設の整備、環境対策等・共生策の概成	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	4,609,000	3,706,000
4	関西国際空港の整備	国際航空サービス提供レベル 旅客：4,800億座席キロ(H19年度) 貨物：300億トンキロ(H19年度)	関西国際空港において、2本目の滑走路を供用する	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	73,064,000	53,660,000
5	中部国際空港の整備	国際航空サービス提供レベル 旅客：4,800億座席キロ(H19年度) 貨物：300億トンキロ(H19年度)	中部国際空港の整備は、中部圏の航空需要に適切に対応するため、2005年2月の開港を目指して整備を行う	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	2,892,000	47,000
6	一般空港等の整備(滑走路の延長等)	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	滑走路延長等の事業を引き続き推進することによる	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	25,072,580	23,030,520
7	一般空港等の整備(空港施設の整備等)	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	滑走路、誘導路、エプロン等の基本施設の改良等既存空港の機能を保持するための整備を引き続き推進することによる	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	18,942,080	20,322,823
8	航空サービス高度化推進事業(重点戦略拡充・展開等)	国際航空サービス提供レベル 旅客：4,800億座席キロ(H19年度) 貨物：300億トンキロ(H19年度) 国内航空サービス提供レベル 旅客：1,500億座席キロ(H19年度)	空港アクセス等に加え、航空交通の円滑化や空港経営の戦略的推進を含む総合的な航空サービスの高度化に関する重点戦略の策定に取り組むとともに、所要の調査を実施し、重点戦略の展開を図ることによる	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	110,000	590,000
9	航空サービス高度化推進事業(一般空港分)	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	空港を核とした観光交流の促進、空港アクセス改善や空港運用の高度化事業等を引き続き推進することによる	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	11,799,000	11,490,006
10	航空サービス高度化推進事業(駐車場のバリアフリー化)	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	駐車場側歩道等のバリアフリー化を引き続き推進することによる	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	1,235,000	1,549,260
11	航空サービス高度化推進事業(空域・航空路の抜本的再編等)	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	RNAV(広域航法)、RVSM(短縮垂直間隔)等の新技術を導入・展開し、一定高度以上の空域にRNAV経路専用空域を設定し、全国規模で空域・航空路を抜本的に再編する。また、航空需要の変化に対応した最適な空域・航空路を設定するためのシミュレーション機能の導入等により、限られた空域を最大限に活用し、航空交通処理容量の拡大を図る	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	0	2,119,247
12	ハイジャック・テロ対策等航空保安対策の強化	航空機に対するハイジャック・テロの発生件数 0件(H15以降毎年度)	空港の不法侵入対策の強化 場周柵に沿って杭を設置するなどして、車両の突入を防止 フェンスの材質を強化し、柵の損壊による人の侵入を防止 制限区域への出入り口であるゲートを廃止・撤去し、場周柵化するなどして、ゲートからの人と車両の進入を防止 万が一制限区域に侵入された場合に備え、侵入者等を直ちに検知できるよう、センサー等を整備 空港危機管理情報システムの拡充 危機管理のための現場の状況把握及び指示システムの拡充を図る	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	0	3,045,100
13	空港周辺整備の促進	航空機騒音に係る環境基準の屋内達成率 95%(H18年度)	空港周辺住民が住宅に対して行う防音工事に対して助成することにより、環境基準の屋内達成率の向上を図る	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	15,164,844	14,937,343

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの 事後的な評価方法	16年度 予算額(千円)	17年度 予算額(千円)
14	次世代航空保安システムの整備	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度) 国際航空路線において最適経路を航行できる航空機の割合100%(H19年度)	M T S A Tの導入により、洋上を航行する航空機の位置情報を航空管制官がより正確に把握可能となり、洋上管制間隔を短縮することにより、国際航空交通容量を拡大する 次期管制システムを導入し、多様な管制支援機能を活用することにより、管制処理能力の向上を図る	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	19,693,296	19,322,958
15	現行航空保安システムの整備	国内航空サービス提供レベル 1,500億座席キロ(H19年度)	現行航空保安システムについて、必要に応じ、機能保持のための整備を行う	「業績測定(政策チェックアップ)」(政策評価基本計画に基づく)	4,129,483	4,104,286